



風の子

糸魚川市立木浦小学校

H30 学校だより No.17

平成31年1月25日発行



まだ早かったですか？

しみわたり

富永 浩文

雪国では、前日の晴天で溶けた雪が、放射冷却で冷やされ、しまつて固まると、朝その上を歩いて渡ることができます。雪深い地方では、早春雪解け頃によくできる自然現象です。

大陸から張り出した高気圧が移動性となり、低気圧を東に押しやった後の晴天の朝、10 cmほどの雪で覆われた木浦小学校のグラウンドは、陽の光に照らされてきらきら輝いていました。その美しさは、雪国の冬のつらさを癒やすこの上ないご褒美です。そして、もう一つのご褒美が固まった雪です。

冷えて固まることを「凍みる」と言います。豆腐を寒風で凍らせ、乾燥させたものを凍み豆腐と言うように、私たちの生活では比較的馴染みのある言葉です。同様に、凍みた雪を歩いて渡ることから、「しみわたり」と呼んできました。

さて、小寒の10日（木）早朝は、前の晩からの放射冷却により、氷点下まで冷え込みました。道路のあちこちに雪が溶けて流れた水が凍り、つるつるのスケートリンクのようになっていました。



宙返りしても、担任が歩いて埋まらない

木浦は冬も美しい。この美しさを体で味わい、胸に焼き付けてほしいものです。冬はこれからが正念場です。暖冬と言われてはいますが、まだまだ油断はできません。皆様、くれぐれも交通安全、健康管理にご留意ください。



朝日に輝く烏帽子山

学校へ来てグラウンドに出てみると、足が埋まりません。サクサクと、軽やかに歩けます。是非子どもたちにもと、登校する子どもたちに「グラウンドを歩いて玄関まで行きましょう」と声をかけました。しみわたり体験です。

子どもたちは、楽しそうにグラウンドを歩いていました。1, 2年生は、朝の活動で凍み渡りをしながら、あちこち散策してました。動物の足跡は見つかったかな？ふるさと

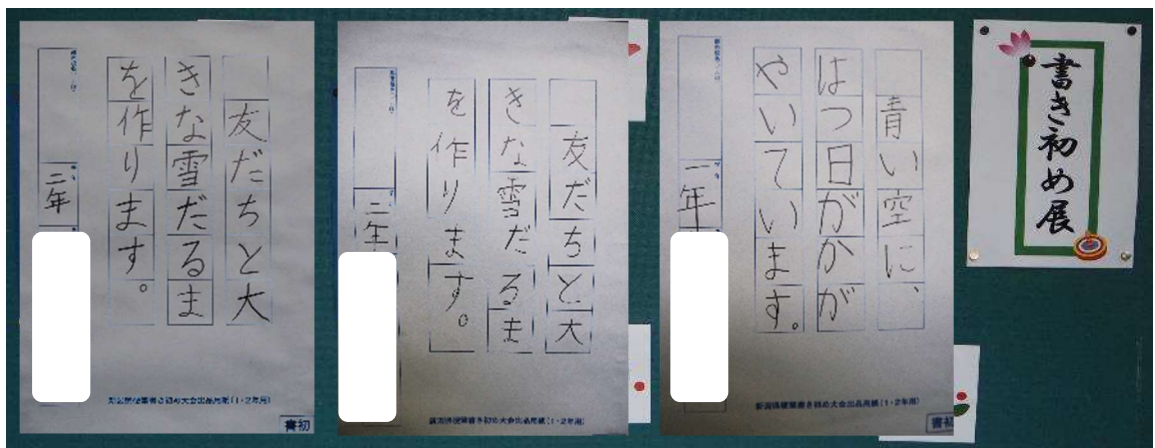
集中！ 書き初め大会 1月9日(水)



これまでの書写学習と冬休みの寺子屋、書き初め大会において、楠田先生や岩崎先生に指導いただけてきました。その積み重ねによって、みんな迫力のある字を書くことができました。校内書き初め大会では、それぞれ集中して表現しました。たくさんの作品の中から、悩みながら競書大会に出品する作品と校内に展示する作品を選びました。

校内書き初め展 ~2月8日(金)

→
一、二年生
硬筆





↑三、
四年生
毛筆



→五、
六年生
毛筆



校内版画展 ~2月8日(金)



1, 2年生 版遊び カラーインクで版の面白さを体験しました。



↑3, 4年生 木版画
学校生活の中で、自分で
或いは友だちと一緒に取
り組んだ活動の思い出を
表現しました。



5, 6年生 木版画
自分が一生懸命取り
組み、印象に残って
いる活動を表現しま
した。



縄跳びがんばっています！



2月1日（金）に予定している縄跳び大会に向けて縦割り班ごとに大縄跳びを練習しています。火、木曜日の20分休みや体育の時間に、心を一つにして、競い合いながら記録に挑戦しています。

高学年の子どもが、リズミカルに大縄を回します。そこをみんなで回数を数えながら八の字で跳んでいきます。3分間で何回跳べるでしょうか。記録は日に日に更新されています。

寒い冬でも、心はホカホカ温かい！ なかよし集会から

一年で一番寒い時季になりました。外は雪模様、凍えるような寒さです。そのような中、1月16日（水）図書室でなかよし集会を行いました。縦割り班ごとのすごろく遊び、サイコロを振って出た目の数だけ進みます。止まったところでお楽しみ。「みんなで握手をして一マス進む」「みんなでじゃんけん勝った人は、ありがとうと言って進む」「一番年上の人



が、みんなの頭をなでる」「みんなで立ち上がっておじぎする」などなど。タッチしたり握手したり、ちょっと恥ずかしいけどとっても楽しい。心がホカホカ温かくなる楽しい集会でした。

